

当初・変更

工事執行機関 41320 県中建設事務所

入札（見積）執行調書
入札（契約）結果書

年災		事項		契約	平成29年12月19日
工事番号	17-41320-0161	工事名	道路橋りょう整備（再復）工事（道路改良）	着工	平成29年12月25日
入札執行年月日	平成29年10月25日	発注種別	01 一般土木工事	完成	平成32年8月31日
審議番号	公所	000000	本庁		
路線・河川名	吉間田滝根線			予定価格	
工事箇所	田村市滝根町広瀬地内外			1,417,132,800	
至					
工事概要	道路改良工 L= 394.0m 掘削工 V= 191726.7m ³				

業者コード 業者名	落札者の住所		
	入札額及び再入札額		落札額（契約額）
100002515 三立土建（株） 郡山支店	(1) 1,260,000,000 (3)	(2) (4)	
700800476 福浜大一・藤田・石覚特定建設 工事共同企業体	田村郡三春町大字熊耳字字道45		
	(1) 1,145,000,000 (3)	(2) (4)	1,236,600,000
700800477 富士・壁巢特定建設工事共同企 業体	(1) 1,146,000,000 (3)	(2) (4)	
	(1) (3)	(2) (4)	
	(1) (3)	(2) (4)	
	(1) (3)	(2) (4)	
	(1) (3)	(2) (4)	
	(1) (3)	(2) (4)	
	(1) (3)	(2) (4)	

※ 上記入札額に、消費税額を加算した額が地方自治法上の申込みに係る価格である。
 ※ 測量等の場合、「工事名」とあるのは「業務名」と、「工事箇所」とあるのは「業務箇所」と読み替えるものとする。

条件付一般競争入札参加資格確認等一覧表

(入札執行権者 県中地方振興局長 林 昭彦)
 (立会人職氏名)

工事番号	17-41320-0161	年月日	公 告	H29.9.15	落札者決定	H29.10.27	条件設定	地方審査委員会	H29.8.31	資格確認	地方審査委員会	
工 事 名	道路橋りょう整備(再復)工事(道路改良)		開 札	H29.10.25				本庁審査委員会	H29.9.11		本庁審査委員会	

No.	入札参加者	入札参加資格の確認結果										落札候補者の順位	入 札 結 果	備 考
	商号、名称又は特定建設工事共同企業体名	① 工事等請負有資格業者名簿に登録されている	② 施行令第167条の4第1項各号のいずれかに該当しない	③ 入札参加資格停止期間中でない	④ 会社更生手続又は民事再生手続中でない	⑤ 有効な経営事項審査を受けている	⑥ 格付要件	⑦ 地域要件	⑧ 公告に記載された企業の実績があるか	⑨ 公告に記載された配置予定技術者の実績があるか				
1	福浜大一・藤田・石覚特定建設工事共同企業体	○	○	○	○	○	○	○	-	-		1	1,145,000,000	落札者
2	富士・壁巢特定建設工事共同企業体											2	1,146,000,000	
3	三立土建(株)郡山支店												1,260,000,000	
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														

様式第2号附表(第8条関係)

施工計画の適切性に対する評価結果
(標準型)

工事種別 一般土木工事

工事執行権者 県中建設事務所長

工事番号	17-41320-0161	工事名	道路橋りょう整備(再復)工事(道路改良)	工事箇所	田村市滝根町広瀬地内外	路線・河川名	吉間田滝根線
工事概要	道路改良工 L=394.0m、掘削工V=191,726.7m3						

入札参加者	施工計画の適切性 配点100点(総合評価方式における加算点配点10点)														総合評価方式における加算点
	様式第9号(その1) 工事の工程表			様式第9号(その2) 工程、品質、出来形及び安全管理計画				様式第9号(その3) 施工計画概要書				様式第9号(その4) 主要工種の施工計画		合計	
	25点			25点				25点				25点			
	項目	1 工程計画	2 工事実施に当たっての留意点	3 特に優れている点	1 工程計画管理	2 品質管理計画及び出来形管理計画	3 安全管理計画	4 特に優れている点	1 工事実施上の留意点とその対策	2 地域対策	3 工事管理組織体制	4 特に優れている点	1 施工計画		
福浜大一・藤田・石覚特定建設工事共同企業体	12.5	10		7.5	5	7.5		10	7.5	0		25		85	8
富士・壁栗特定建設工事共同企業体	0	7.5		7.5	5	5		5	5	2.5		20		57.5	2
三立土建(株)郡山支店	0	10		7.5	0	5		10	2.5	0		20		55	2
—															
—															
—															
—															
—															
—															
—															

総合評価方式入札結果

工事種別 一般土木工事

工事執行権者 県中建設事務所長

工事番号	17-41320-0161	工事名	道路橋りょう整備(再復)工事(道路改良)	予定価格(円)	1,417,132,800	工期	平成32年 8月31日限り
路線河川名	吉間田滝根線	工事箇所	田村市滝根町広瀬地内外	工事の概要	道路改良工 L=394.0m、掘削工V=191,726.7m3		

開札予定日	平成29年10月25日
技術審査日	平成29年10月19日

学識経験者の職・氏名		落札者決定基準		落札者の決定		
職業等	氏名	意見の適否	意見聴取月日	落札者決定の際の意見聴取	意見の適否	意見聴取月日
国土交通省東北地方整備局郡山国道事務所副所長	増澤 亨	適	平成29年 8月 4日	要 ・ <input checked="" type="radio"/> 不要		平成 年 月 日
国土交通省東北地方整備局郡山国道事務所副所長	松前 好則	適	平成29年 8月 4日	要 ・ <input checked="" type="radio"/> 不要		平成 年 月 日

入札参加者	入札参加者の所在地 (契約する本店・支店・営業所)	標準点	加算点	標準点 +加算点 (A)	入札額 (円:税抜き) (B)	評価値算出価格 (円:税抜き) (C)	評価値 (A/C) × 10,000,000	順位	低価格入 札の該当	備 考
福浜大一・藤田・石覚特定 建設工事共同企業体	田村郡三春町	100	42.50	142.50	1,145,000,000	1,145,000,000	1.2445	1	-	落札者
富士・壁巢特定建設工事 共同企業体	田村市	100	32.50	132.50	1,146,000,000	1,146,000,000	1.1561	2	-	
三立土建(株)郡山支店	郡山市	100	27.50	127.50	1,260,000,000	1,260,000,000	1.0119	3	-	
—	—	100	0.00	100.00			-	-	-	
—	—	100	0.00	100.00			-	-	-	
—	—	100	0.00	100.00			-	-	-	
—	—	100	0.00	100.00			-	-	-	
—	—	100	0.00	100.00			-	-	-	
—	—	100	0.00	100.00			-	-	-	
—	—	100	0.00	100.00			-	-	-	
—	—	100	0.00	100.00			-	-	-	
入札参加者 3者										

入 札 公 告

条件付一般競争入札を行うので、地方自治法施行令(昭和22年政令第16号。以下「施行令」という。)第167条の6第1項及び福島県財務規則(昭和39年福島県規則第17号)第246条第1項の規定により公告する。

平成29年 9月15日

福島県中地方振興局長 林 昭彦

1 入札に付する事項

工事番号	17-41320-0161		
工事名	道路橋りょう整備(再復)工事(道路改良)		
工事箇所	田村市滝根町広瀬地内外(吉間田滝根線)		
工事概要	道路改良工 L=394.0m 掘削工 V=191,726.7m ³		
完成期限	平成32年8月31日限り		
予定価格	契約締結後に公表する。		
最低制限価格	該当なし	施行令第167条の10第2項に基づき最低制限価格を設定する工事	
総合評価方式	標準型	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式の適用工事 ・ 落札候補者の決定方法及び総合評価の方法は、入札説明書による。 ・ 当該入札では評価基準価格を設定する。 	
低入札価格調査	該当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施行令第167条の10の2第2項の規定に基づく低入札価格調査制度適用工事 ・ 調査基準価格を下回った入札を行った場合は、評価値が最も高い者であっても必ずしも落札者とはならない場合がある。また、低入札価格調査に協力すること。 	
施工体制事前提出方式	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福島県施工体制事前提出方式の適用工事 ・ 施工体制事前提出方式における失格基準、調査内容及び様式等は、入札説明書による。 	
電子入札	該当	電子入札に参加するには、電子入札システムへの事前登録が必要 電子入札システムのホームページ http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01115c/nyusatsu-98.html	
電子閲覧	該当	電子閲覧システムのホームページ http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01115c/nyusatsu-96.html	
現場代理人の常駐義務の緩和	該当	落札者の申請に基づき発注者が認める場合、先行工事の現場代理人をこの工事の現場代理人とすることができる。この場合、発注者は必要な条件を付すことができる。	
再資源化等	該当	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。	
混合入札	復興JV以外	該当	単体企業又は特定建設工事共同企業体での参加を認める混合入札
	復興JV	該当なし	単体企業又は福島県建設工事に係る共同企業体取扱要綱附則第3項で規定する別に定めるものについて(平成23年12月28日付け23財第1971号通知(平成25年9月3日一部改正))における特定建設工事共同企業体での参加を認める混合入札

2 入札に参加する者に必要な資格に関する事項

入札に参加する者は、次に掲げる条件及び入札説明書に掲げる条件をすべて満たしている者であること。

(1) 単体企業の場合

発注種別	一般土木工事	福島県平成29・30年度工事等請負有資格業者名簿の左の欄に表示した発注種別において、左の欄に表示された格付等級に登録されていること。
格付等級	A	
許可業種	土木工事業	建設業法(昭和24年法律第100号)の左の欄に表示した業種の許可を受けていること。
地域要件	県内	県内とは、福島県内に本店を有する者であること。
技術者の工事経験 必要なし		<p>・左の欄に表示した工事経験(配置技術者としての経験)がある監理技術者又は主任技術者を工事現場に専任で配置できる者であること。(ただし、請負金額が3,500万円未満(建築一式工事の場合は7,000万円未満)になる場合は、専任を要しない。)工事経験とは、現在雇用関係にある企業以外での経験も含め、左の欄に表示した期間に元請(JVの場合は、出資割合が20%以上の構成員であって、共同施工方式ではなく、分担施工方式による場合は、分担した工事が左の欄に表示した工事に該当する場合に限る。また、公共工事に限る(発注種別が建築工事、電気設備工事又は暖冷房衛生設備工事であるときを除く。)。ここでいう公共工事とは、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律(実績当時のもの)で規定される公共工事の発注者、土地開発公社、地方道路公社、地方住宅供給公社、下水道公社、土地区画整理組合、市街地再開発組合、土地改良区、公立大学法人福島県立医科大学又は公立大学法人会津大学が発注する工事をいう。以下同じ。)の配置技術者として携わった経験をいい、この場合配置技術者としての経験とは、建設業法第26条第1項で規定する主任技術者又は同条第2項で規定する監理技術者としての経験をいう。</p> <p>・監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。</p>
企業の工事实績 必要なし		元請として、左の欄に表示した期間に、左の欄に表示した工事实績があること。
企業の工事規模実績 必要なし		<p>元請として、左の欄に表示した期間に、1件当たりの請負金額が左の欄に表示した金額以上の施工実績(JVの場合は、出資割合に相当する額とする。)があること。</p> <p>ただし、同一工事について、複数年度にわたって受注した場合は1件とみなす。</p>
JR近接工事 該当なし		<p>東日本旅客鉄道株式会社の「工事管理者」の資格を有する恒常的な雇用関係にある者を工事現場に配置できること。</p> <p>なお、「工事管理者」とは、東日本旅客鉄道株式会社が認定する「工事管理者(在来線)資格認定証」を有する者をいう。</p>

(2) 特定建設工事共同企業体の場合

構成員の数	2者又は3者であること。		
構成員の組み合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・構成員全員が、構成員共通の資格要件を満たしていること。 ・代表構成員の資格要件を満たす者1者及びその他の構成員の資格要件を満たす者1者又は2者の組み合わせであること。 		
結成方法	自主結成であること。		
各構成員の出資割合	<ul style="list-style-type: none"> ・2者の場合は、各者30%以上であること。 ・3者の場合は、各者20%以上であること。 		
構成員共通の資格要件	技術者の工事経験	<ul style="list-style-type: none"> ・左の欄に表示した工事経験(配置技術者としての経験)がある監理技術者又は主任技術者を工事現場に専任で配置できること。(ただし、請負金額が3,500万円未満(建築一式工事の場合は7,000万円未満)になる場合は、専任を要しない。) ・工事経験とは、現在雇用関係にある企業以外での経験も含め、左の欄に表示した期間に元請(JVの場合は、出資割合が20%以上の構成員であって、共同施工方式ではなく、分担施工方式によるときは、分担した工事が左の欄に表示した工事に該当する場合に限る。また、公共工事に限る(発注種別が建築工事、電気設備工事又は暖冷房衛生設備工事であるときを除く。)。ここでいう公共工事とは、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律(実績当時のもの)で規定される公共工事の発注者、土地開発公社、地方道路公社、地方住宅供給公社、下水道公社、土地区画整理組合、市街地再開発組合、土地改良区、公立大学法人福島県立医科大学又は公立大学法人会津大学が発注する工事をいう。以下同じ。)の配置技術者として携わった経験をいい、この場合配置技術者としての経験とは、建設業法第26条第1項で規定する主任技術者又は同条第2項で規定する監理技術者としての経験をいう。 ・監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。 	
	必要なし		
代表構成員の資格要件	発注種別	一般土木工事	福島県平成29・30年度工事等請負有資格業者名簿の左の欄に表示した発注種別において、左の欄に表示された格付等級に登録されていること。
	格付等級	A	
	許可業種	土木工事業	建設業法(昭和24年法律第100号)の左の欄に表示した業種の許可を受けていること。
	地域要件	県内	県内とは、福島県内に本店を有する者であること。
	企業の工事实績	必要なし	元請として、左の欄に表示した期間に、左の欄に表示した工事实績があること。
	企業の工事規模実績	必要なし	元請として、左の欄に表示した期間に、1件当たりの請負金額が左の欄に表示した金額以上の施工実績(JVの場合は、出資割合に相当する額とする。)があること。 ただし、同一工事について、複数年度にわたって受注した場合は1件とみなす。
	JR近接工事	該当なし	東日本旅客鉄道株式会社の「工事管理者」の資格を有する恒常的な雇用関係にある者を工事現場に配置できること。 なお、「工事管理者」とは、東日本旅客鉄道株式会社が認定する「工事管理者(在来線)資格認定証」を有する者をいう。
出資割合	構成員のうち最大であること。出資割合が同じ場合においては、施工能力の大きい者であること。		

その他の構成員の資格要件	発注種別 格付等級	一般土木工事 A	福島県平成29・30年度工事等請負有資格業者名簿の左の欄に表示した発注種別において、左の欄に表示された格付等級に登録されていること。
	許可業種	土木工事業	建設業法(昭和24年法律第100号)の左の欄に表示した業種の許可を受けていること。
	地域要件	県内	県内とは、福島県内に本店を有する者であること。
	企業の工事实績 必要なし		元請として、左の欄に表示した期間に、左の欄に表示した工事实績があること。
	企業の工事規模実績 必要なし		元請として、左の欄に表示した期間に、1件当たりの請負金額が左の欄に表示した金額以上の施工実績(JVの場合は、出資割合に相当する額とする。)があること。 ただし、同一工事について、複数年度にわたって受注した場合は1件とみなす。
	JR近接工事 該当なし		東日本旅客鉄道株式会社の「工事管理者」の資格を有する恒常的な雇用関係にある者を工事現場に配置できること。 なお、「工事管理者」とは、東日本旅客鉄道株式会社が認定する「工事管理者(在来線)資格認定証」を有する者をいう。

3 入札参加手続等

本件入札においては、開札後に入札参加資格の審査を行うため、事前の入札参加申請手続等は要しない。(電子入札対象工事にあつては、電子入札システムにより開札を行うため、入札参加者は当該システムにて、必ず、入札参加の受付をする必要がある。)

設計図書等の質問受付方法、入札書等の提出、落札候補者の公表及び入札結果の公表については、入札説明書による。

設計図書等の閲覧、入札執行などの期間や場所は次に示すとおりとする。

項目	期間又は期日	場所等
設計図書等の閲覧等	平成29年9月15日(金)～ 平成29年10月24日(火)	電子閲覧システムによる。
設計図書等の質問	平成29年9月15日(金)～ 平成29年9月22日(金)	郡山市麓山1丁目1番1号 県中建設事務所総務部総務課 電話番号 024-935-1410 ファクシミリ 024-935-1407 電子メール kentyuu.ken@pref.fukushima.lg.jp
質問の回答予定	平成29年9月26日(火)	福島県県中地方振興局出納室ホームページ 入札書等の提出前に、必ず本ホームページにて、質問回答の有無を確認すること。
入札参加受付	平成29年10月6日(金)～ 平成29年10月10日(火)	・電子入札の場合に限る。 ・電子入札システムへの入力による。
入札書等の提出	平成29年10月24日(火)	電子入札システムへの入力による。
開札	平成29年10月25日(水) 午前9時30分	開札は公開とする。 郡山市麓山1丁目1番1号 福島県郡山合同庁舎 出納室
落札者の決定予定日	平成29年10月31日(火)	

- ※ 電子閲覧システムの利用時間は、午前9時から午後10時まで((福島県の休日を定める条例(平成元年福島県条例第7号)第1条第1項に規定する県の休日を除く。以下同じ。))です。
- ※ 電子入札システムの利用時間は、午前9時から午後5時までです。

4 入札参加資格要件の審査に関する事項

落札候補者が決定した場合は、開札後速やかに当該落札候補者に電話等確実な方法により通知する。

なお、落札候補者の入札参加資格要件の審査、落札者の決定及び入札参加不適格の通知については、入札説明書による。

5 入札保証金及び契約保証金

入札保証金及び契約保証金については、入札説明書による。

6 入札の無効

2の入札に参加する者に必要な資格のない者がした入札及び福島県工事等競争入札心得等において示す入札に関する条件等に違反した入札は、無効とする。

7 契約の成立

本工事の契約については、落札決定後に仮契約を締結し、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例(昭和39年福島県条例第21号)第2条の規定に基づき、福島県議会の議決を得たときに成立するものとする。

ただし、契約の相手方の決定後、議決までの間に契約の相手方(法人である場合は、法人の役員又はその使用人)が逮捕されるなど反社会的な行為等があり、その者を契約の相手方とすることが適当でないと認めるときは、契約を締結しない。

なお、契約が成立しなかった、又は締結されなかったことによる損害については、福島県は、これを一切賠償しない。

8 その他

- (1) 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準(福島県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。

営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

- (2) 本工事は、「東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について」(平成26年2月7日)(技術管理課HP：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/torikumi.html>参照)を適用し積算している工事である。

- (3) その他詳細は、入札説明書による。また、不明な点は次に示すところに照会すること。

問い合わせ先 福島県県中地方振興局出納室
 電話番号 024-935-1472
 ファクシミリ 024-935-1499
 電子メール kenchu.suito@pref.fukushima.lg.jp

〈参考〉提出する書類一覧表(郵便入札の場合、入札書と一緒に提出する書類一覧表)

提出書類	郵便入札の場合		電子入札対象工事の場合	
	外封筒	中封筒	入札参加受付時	入札書等提出時
技術提案書	○		<small>(注1)(注2)(注3)(注4)</small> ○	
入札書		○		システムに入力
見積内訳書		○		○

見積内訳総括表 (低入札価格調査事務処理 要領様式第6号)		○		○ (注2)
工事費内訳書 (福島県施工体制事前提出 方式試行要領様式1号) ※郵便入札の場合は同様 式及び同様式を記録した CD-R(追記型コンパク トディスク)		—		—
下請工種内訳書 (福島県施工体制事前提出 方式試行要領様式2号)		—		—

※ 封筒の外または中に入れる書類を間違えると無効になります。

※ 電子入札における留意点

(注1) 入札参加受付時に、システムの仕様上、添付資料の提出が必須となりますので、総合評価方式の適用工事でない場合(技術提案書の提出がない場合)は任意のファイル(内容は問いません)を資料として添付してください。

(注2) 添付するファイル(任意のファイルを添付する場合を除く。)を間違えた場合、入札を無効とすることがありますので注意してください。

(注3) 総合評価方式(標準型)の場合、様式第9号(その1～その4)及び様式第10号の提出時期は、競争参加資格確認の翌日までになります。

(注4) 総合評価方式の適用工事であって、標準型以外の場合は、入札参加受付時に技術提案書を提出済みでも、システムには提出ボタンが表示されます。これは、システムの仕様により一律表示されるものであり、実際の提出状況は反映していません。